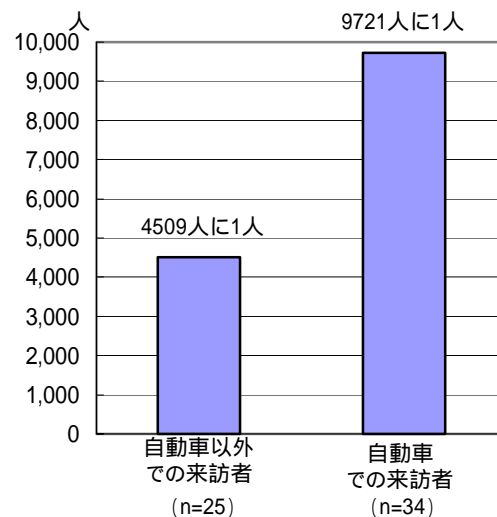


交通百葉箱：行楽客にアンケート．交通事故でなくなるドライバーの予想値，JAF Mate 12月号，p. 48，2002.

2002年の8月，神奈川県江ノ島海岸に来ていた行楽客60人を対象に，簡単なアンケート調査を実施．質問項目は，「江ノ島海岸までの交通手段」と，「交通事故でなくなってしまうドライバーは何人に一人くらいだと思いますか？」の二つ．「百万人に一人が事故死する」と回答した人がいたが，2番目に大きな回答が5万人に一人であったことから異常値と判断し削除した後に，自動車で来た人，自動車以外で来た人のそれぞれについて，交通事故死ドライバー数の予想値の平均を求めた．

自動車で来た人は，自動車以外で来た人よりも  
おおよそ“2倍”クルマは安全だと考えている！



注：全体平均は7512人に1人

図 交通事故でなくなるドライバーの予想値

クルマと飛行機どっちを利用している時がコワイですか？自動車事故と地震，どっちがコワイですか？おそらく，クルマよりも飛行機や地震の方がコワイのではないのでしょうか．実際，クルマはさほど怖くない，という結果は色々な社会調査で一貫して得られています．

しかし，自動車事故で亡くなる方は年間1万人近くもいます．これは残念ながら阪神・淡路大震災のそれよりも，そしてこれまで国内で起こった飛行機事故全てを足し合わせた数字よりもずっと大きなものです．つまりクルマの方が命を落とすリスクが高いにも関わらず，あまり怖いとは思われていないのです．

これにはいくつかの理由が考えられます．一回あたりの被害が地震や飛行機の方が大きいこと、クルマの事故は自己責任で回避できること，等です．しかし最も重要な理由は今回の結果に隠さ

れています。

この結果はクルマで訪れた人はクルマを安全だと考えている、という事を意味していますよね。つまり「クルマが便利と思う人ほど安全と考える」ということです。そうなのです、私たちには「便利なものは（実際のリスクはさておき）安全と思いたい」と考えてしまう自己正当化と呼ばれる心的傾向があるのです。例えば、喫煙者がタバコは健康に害ではないと考えるのもこれが原因ですね。

クルマが便利だからこそ安全と考える。でもこれは勘違い。事故死する運転者数から一生涯で死亡事故にあう確率を求めるとその数値はなんと約 350 人に 1 人となります（注）。今回の結果が平均約 7500 人ですから人々はクルマを 20 倍以上も過剰に安全だと考えていることとなります。便利であってもリスクはリスク。クルマとかしこくお付き合いするには、こうしたリスクをきちんと知っておくことも大切かも知れませんね。

注)  $1.0 - [1.0 - (\text{年間死亡ドライバー数約} 3000 \text{ 人} / \text{非ペーパードライバー数約} 5 \text{ 千万人})]^{50 \text{ 年間}}$  1/334